

## 令和5年度公益財団法人国際湖沼環境委員会事業報告

公益財団法人国際湖沼環境委員会（ILEC）は、国連環境総会（UNEA）で採択された持続可能な湖沼管理（SLM）決議を受け、「ILEC の中期展望 2022（2022-2025）」に基づき、令和5年度は次の3つの主要事業を展開した。

「Ⅰ．世界の湖沼保全のための基盤事業」では、科学委員会総会や国内専門家会合等を通じ、科学的知見を集約、発信するとともに第19回世界湖沼会議（WLC19）、国際コロキウム（IC）を開催し、「世界湖沼の日」制定に向けた機運醸成を含め、統合的湖沼流域管理活動の推進を図った。

「Ⅱ．湖沼流域管理等研修事業」では、国際協力機構（JICA）からの委託による統合的流域管理研修、環境省からのインドネシア湖沼水質改善技術協力事業に取り組んだ他、ビデオ教材の作成など人材育成ツールの開発に取り組み、研修事業を幅広く展開した。

「Ⅲ．国際機関との共同連携による統合的湖沼流域管理推進事業」では UNEP との協力協定に基づく IC の共催やマレーシアにおける住民の生態系サービス共有価値評価（PESSVA）導入事業の展開など国際協力の積極的な推進を図った。

### 公益目的事業

#### I．世界の湖沼保全のための基盤事業

##### 1．科学委員会活動運営事業

科学委員会総会を2023年11月10日に開催し、次期科学委員長の選任を含む第15期科学委員体制、「フェロー」・「アソシエイト」制度のガイドライン作成、湖沼管理者向けガイドラインブック改訂および第10回世界水フォーラム湖沼セッションへの参加などにつき議論を行った。

また、国内では2024年1月に湖沼流域管理に係る専門家会合（WLC19 報告会）を開催し、今後の我が国からの更なる貢献に向けた意見交換を行った。

##### 2．世界湖沼会議企画協力事業

###### (1) 第19回世界湖沼会議の開催

ハンガリー・バラトンフェレドでバラトン湖開発局との共催により開催した WLC19 は、「湖沼を越えて 持続可能な利用に向けて科学・文化・ガバナンスを繋ぐ」をテーマとして2023年11月7日から9日の3日間にわたり、30ヶ国、354人の参加を得た。

湖沼会議の前日11月6日に各国政府、国際機関等が一堂に会し、「SLMの推進に向けて：課題、現状、教訓」をテーマとして、国際コロキウム（円卓会議）開催し、「世界湖沼の日」制定や SLM 推進の重要性について議論した。国内では IC に先立ち、9月に琵琶湖を擁する地域に拠点を置く大学の専門家や研究者を中心に WLC19 に向けたワークショップを開催し、その成果を IC で共有した。

また、WLC19 には2022年10月の国際シンポジウムにおけるエコツーリズムコンテスト優秀賞受賞者を次世代リーダーの育成を目的に派遣し、ユースセッションの企画・運営開催、分科会発表を支援した。

## (2) 第 20 回世界湖沼会議の開催に向けた取組

第 20 回世界湖沼会議開催候補地の主催団体との調整を進め、WLC19 において次回オーストラリア・ブリスベンでの開催を発表した。

## 3. 世界湖沼データベース・知識ベース整備事業

ILEC が保有する知的財産である世界湖沼データベース、知識ベースシステム LAKES および国際越境水域評価プログラム (TWAP) ポータルサイトにつき、公開データの保守管理に努めた。

## 4. 湖沼保全活動広報啓発事業

世界の湖沼環境保全活動に関する情報提供および広報活動として、ニュースレター71号 (日・英) および WLC19 特集臨時号 (Web 版) を発行したほか、ILEC 活動の認知の向上を図るためホームページでの広報を中心に、メールマガジン、Facebook、Linkedin に加え、滋賀県政記者クラブへの資料提供、記者説明を行い活動の見える化に努めた。

- ウェブサイトー日本語・英語 (年間訪問者数 18,373 人、年間ページビュー数 68,808)
- メールマガジンー日本語・英語 (年度末配信登録件数 1,459 件 延べ年間配信数 18 回)
- Facebookー日本語・英語 (延べ年間投稿数 64 件 ファン数 1,943 人)
- Linkedin (年間投稿数 30 件 ファン数 77 人)

## II. 湖沼流域管理等研修事業

### 1. 統合的流域管理研修事業

#### (1) JICA 課題別研修

JICA からの委託の JICA 課題別研修「水資源の持続可能な利用と保全のための統合的湖沼・河川・沿岸流域管理」では、開発途上国 11 カ国の行政官や研究者を対象に遠隔講義 (11-12 月の 3 週間) と来日研修 (1-2 月の 5 週間) を実施し、科学委員や研修履修生の知見や経験を活用し、優れたアクションプラン策定の支援を行った。特に、「びわ湖フローティングスクール・うみのこ」や「琵琶湖・淀川・大阪湾流域」の視察などプログラムの充実を図った。

研修員：11 名

参加国：アルバニア(1 名)、中央アフリカ共和国(1 名)、チャド(1 名)、キューバ(1 名)、エルサルバドル(1 名)、インド(1 名)、ニカラグア(1 名)、ナイジェリア(1 名)、南スーダン(1 名)、バングラデシュ(1 名)、メキシコ(1 名)

オブザーバー：JICA ニカラグア事務所職員(1 名)

また、2022 年度研修フォローアップとして研修履修生の集いを 2024 年 3 月にオンラインで開催し、アクションプランの進捗、展望等の情報交換や研修履修生ネットワーク拡大に向け意見交換を行った。

研修履修生：6 名

参加国：アルバニア(1 名)、ニカラグア(1 名)、カンボジア(1 名)、バングラデシュ(1 名)、ナイジェリア(1 名)、フィリピン(1 名)

また、アニメーションを用いたビデオ教材の作成など、ILBM に関する人材育成ツールの開発に

も取り組んだ。

## (2) 湖沼管理者向けガイドラインブックの改訂

SLM の推進に向け、リソースを有効活用するため、ILEC 科学委員の協力によりガイドラインブックの改訂のための協力体制について検討をした。

## 2. 環境教育等研修事業

### (1) 企業・学校教育機関・地方自治体等と連携した環境教育事業

8月に近畿労働金庫、びわこ豊穰の郷との共催および株式会社日吉の協力により地域社会貢献プロジェクト「第4回びわ湖まるっと親子セミナー」を開催した。2024年2月には関西圏の大学に在籍する外国人留学生を対象にJICA 関西地域理解プログラムに協力して「琵琶湖をめぐる開発と保全の教訓」をテーマとした講義を行った。

○地域社会貢献プロジェクト「第4回びわ湖まるっと親子セミナー」

参加者：近畿地域 親子 25名

○JICA 関西地域理解プログラム「琵琶湖をめぐる開発と保全の教訓」

参加者：会場 15名、オンライン約 150名

### (2) 琵琶湖モデル発信事業

7月に滋賀県から委託を受け湖沼流域管理における琵琶湖モデルの普及および発信を目的にハロン湾・カットバ島沿岸水域の水環境改善に向けたベトナム地方行政機関職員受入研修を実施した。

参加者：ハイフォン市、クアンニン省行政機関職員 6名

## 3. インドネシア湖沼水質改善技術協力事業

環境省から委託を受けインドネシア中央政府および地方州政府行政官等を対象としたインドネシアにおける湖沼水質改善のための技術協力業務を実施した。2024年1月に2022年度のラワペニン湖流域の現地調査結果を踏まえたオンラインワークショップを実施した。

参加者：インドネシア環境林業省および中部ジャワ州等関係者 約 50名

## III 国際機関との共同連携による統合的湖沼流域管理推進事業

### 1. UNEP 共同協力事業

UNEP と締結している協力協定に基づき、WLC19 での国際コロキアムの共催をはじめ「世界湖沼の日」制定への働きかけを進めるとともに2024年5月にインドネシア・バリ島で開催される第10回世界水フォーラムに向けた準備を進めた。

### 2. ILBM 国際連携推進・普及啓発事業

地球環境基金助成金を活用した住民の生態系サービス共有価値評価（PESSVA）の導入は2年目を迎え、マレーシア北西部のブキメラ湖を管理するマレーシア排水灌漑局関係者を中心に8月に来日研修を実施した。また、対象湖流域ステークホルダに湖の価値調査を実施し、マレーシアでの調査結果報告会に参加し、流域行政関係者や住民等と議論を行い、湖沼管理における住民参加を促進した。WLC19 では他国での類似の自発的な取組の拡大をねらい、本プロジェクトを発表した。

## 法人会計

### 1. 公益財団法人運營業務

公益財団法人に関する法令等を遵守し、適正な財団運営に努めた。

また、活動等財産運営に必要な財源の確保を目指した取組や財務基盤の改善に向けた光熱水費をはじめとする固定費等削減に努めた。

### 2. 琵琶湖博物館別館（旧 UNEP センター）施設管理運營業務

滋賀県から委託を受け、琵琶湖博物館別館（旧国連環境計画国際環境技術センター）の敷地（面積 12,719 m<sup>2</sup>）と建物（延面積 3,018 m<sup>2</sup>）の適切な維持管理を実施した。

## 会議開催状況

### 1. 理事会・評議員会

令和5年度における理事会・評議員会の開催日程と審議事項は次のとおりです。

#### (1) 理事会

##### ① 第42回理事会（定時理事会）（令和5年5月24日）

第1号議案 令和4年度事業報告および収支決算について

第2号議案 第30回評議員会の招集について

報告事項1 内閣府への定期提出書類について（令和4年度）

報告事項2 第6期理事候補者名簿について

報告事項3 監事交代に伴う候補者名簿について

報告事項4 令和5年度の寄附金の受入について（関西みらい銀行、近畿労働金庫）

報告事項5 理事長および副理事長の職務の執行状況について

##### ② 第43回理事会（書面決議）（令和5年6月16日）

提案事項1 理事長および副理事長の選定について

##### ③ 第44回理事会（定時理事会）（令和6年3月7日）

第1号議案 令和5年度収支予算の補正について

第2号議案 令和6年度事業計画および収支予算について

第3号議案 第31回評議員会の招集について

報告事項1 令和5年度事業実施状況について

報告事項2 新規理事候補者について

報告事項3 評議員交代に伴う候補者等について

報告事項4 基本財産の一部処分について（処分期間の延長）

報告事項5 理事長および副理事長の職務の執行状況について

#### (2) 評議員会

##### ① 第30回評議員会（定時評議員会）（令和5年6月16日）

第1号議案 令和4年度事業報告および収支決算について

第2号議案 第6期理事の選任について

第3号議案 監事の選任について

報告事項1 内閣府への定期提出書類について（令和4年度）

報告事項2 令和5年度の寄附金の受入について（関西みらい銀行、近畿労働金庫）

② 第31回評議員会（臨時評議員会）（令和6年3月19日）

第1号議案 新規理事の選任について

第2号議案 評議員の選任について

報告事項1 令和5年度事業実施状況および収支予算の補正について

報告事項2 令和6年度事業計画および収支予算について

報告事項3 基本財産の一部処分について（処分期間の延長）

## 2. 監事監査

令和5年度における監事監査の開催日程と監査事項は次のとおりです。

① 令和5年度監事監査（令和6年5月8日）

監査項目 令和5年度事業報告および決算書類

## 3. 科学委員会総会

2023年度（令和5年度）における科学委員会総会の開催日程と協議事項は次のとおりです。

① 科学委員会総会（2023年11月10日）

協議項目 ・第15期科学委員長、科学委員会体制について

・「フェロー」「アソシエイト」ガイドラインについて

・湖沼管理者向けガイドラインブック改訂に向けた取組について

・第10回世界水フォーラム湖沼セッションへの参加・協力について